



【優秀賞作品】能登半島地震と、地震保険が守った母の暮らし ～母が住み慣れた家で暮らせる奇跡を、保険がくれました～

実家のお母さまが高齢で一人暮らしをされていることを心配され、娘さまが店舗にご相談に来られました。ご希望は火災保険でしたが、その年のゴールデンウィークに中規模の地震があったこともあり、地震保険の必要性をご説明したところ、追加で地震保険も付帯してご契約いただくことになりました。

保険の始期からわずか2週間後——能登半島地震が発生しました。

ご契約いただいた住所は、まさに地震の中心部。背筋が凍るような思いでした。

すぐに娘さまに連絡を試みましたが、なかなかつながりません。

能登だけでなく、店舗のある金沢市も混乱状態だったため、当然のことだったかもしれません。

翌日、ようやく連絡が取れました。

幸いにも、お母さまは大きな怪我もなく無事でした。

しかし、実家は瓦が総崩れし、壁にはひびが入り、とても人が住める状態ではなくなっていました。

それから約2か月後、地震保険から数百万円の保険金が支払われました。

娘さまからは、こうお言葉をいただきました。

「地震保険の話を聞いていなかったら、実家の修理もままならなかったと思います。

保険が出たおかげで、母は高齢にもかかわらず慣れない土地に移ることなく、住み慣れた自宅で暮らし続けることができました。ありがとうございました。」

能登半島地震の復旧は、今もお困難な状況が続いています。

それでも、地震保険が一つの家庭の再起のきっかけとなったことを、私たちは確かに実感しました。